

# 素晴らしい音を求めて半世紀 確かな技術と経験が活きたフォノカートリッジ 世界中の聴衆を魅せる

エクセルサウンド

エクセルサウンド（横浜市港北区新吉田東、岡田政雄社長、045・543・5100、<http://www.excelound.jp>）は、フォノカートリッジを製造販売している。フォノカートリッジとは、レコードを聴く際にレコード表面の音溝を電気信号に変換する装置である。

昭和45年の創業当初から、自社ブランドと海外ブランドのOEM生産を手がけてきた。早くも半世紀を迎える現在は、海外と国内プ

ランド約10社のOEM生産を行い、自社ブランドにおいては、悦郎・漆シリーズ、華シリーズ（海外向けのみ）を展開している。

ほとんどの作業工程が手作業で行われるうえ、部品も細かく正確でなければならぬフォノカートリッジは、日本製の部品を日本で組み立てている。悦郎・漆シリーズは製品名からも想像できる通り、日本の伝統工芸の漆塗りをフォノカートリッジ本体に施した見事な光沢と質感が、まさに小さな芸術品。また、華シリーズは世界30カ国以上に輸出されており、メイドインジャパンのクオリティが好評を得ている。

それに加えて30年前からは、オーディオ・ビジュアルのアクセサリ製品（主にヘッドホンやスピーカー・収納ケース・クリーナ）の企画・製造・販売も行っている。最近はスマートフォン関連製品の取扱いも始めるなど、時代に即した商品も手がけている。

レコードを聴くとき、フォノカートリッジの針先がレコードに触れた瞬間から、新たな音が、時が、刻み込まれるように、今後も世界中で愛されるフォノカートリッジをつくり続けていく。この半世紀で培った技術と経験が、確かなモノづくりを支えている。

自社ブランドの悦郎・漆シリーズ。漆の光沢と質感がメイドインジャパンならではの精緻な美しさ

